

2025年度の取組み

昨年度は5つのテーマを設け、オンラインによる意見交換と交流を行いました。毎回、80分という限られた時間ですが、事前にテーマにそって意見や質問、活動紹介などをメールしていただき、寄せられた意見等の一覧情報を参加希望者に届けるなど、活発な意見交換を心がけました。また法政大学の布川先生らのゲスト報告なども交えました。今年度はスタートを20分繰り下げて、同様の運営で進めたいと思います。

主なテーマは以下の通りですが、7月8日自立就労委員会での意見交換や要望等を踏まえて、内容を修正・付加したいと思います。

自立就労委員会の参加には、就労支援部会の入会手続きが必要です。多くの皆さんの参加をお待ちしております。なお就労支援部会については、全国ネットHPの「入会案内」にある案内チラシをご覧ください。 <https://life-poor-support-japan.net/>

オンライン版・自立就労委員会の予定 ～意見交換と交流～

日程	テーマ	概要
7月～8月 (調整中)	【緊急企画】障害者の雇用・就労支援から学ぶ～雇用・就労支援の仕組みの現状と課題～	企業に農園やサテライトオフィス(なかには在宅就労も)などを貸出し、そこで働く障害者も紹介して雇用管理なども行う「障害者雇用代行ビジネス」を展開する企業が増えているのをご存じだろうか？その実態やこれまでの障害者雇用・就労支援に及ぼす影響などを取り上げます
7月8日(火)	(1) 自立就労委員会:昨年度の振り返りと今年度のテーマ等について	昨年度は「就労支援型職業紹介」「ドイツの就労支援政策」「生困制度と生活保護」「労働施策との連携」「企業等との関係づくり」をテーマに5回開催。その振り返りと今後のテーマ等について意見交換
8月25日(月)	(2) 強みや適性等の理解を促進するインテークの工夫	キャリア・コンサルタントの職能やその知見を活かした就労相談について、事務局の壽山葉子さんに報告いただき、交流します。 ○相談導入部の進め方、○ガイダンスツールを活用するタイミングと提案の方法、○強み・適性を理解する・発見する場面で留意すること、○強み・適性を活かす具体的な職務・仕事について探る・確かめる方法など
10月 日 (調整中)	(3) 職務・仕事の洗い出しと定義(職務分析)～会社・事業所(業種)ではなく、なぜ職務に注目するのか…?～	従事する職務・仕事の内容が事前に相談者に伝える工夫はないか？その答えの1つが職務分析だ。実は半世紀前になるが、職安では仕事の観察と調査を行い、求人票以外に「職務解説書」という仕事情報を作っていた。現代版の職務解説書について、川崎市超短時間雇用プロジェクトを担う「企業応援センターかわさき」の報告をもとに交流します
12月8日(月)	(4) 潜在的相談者像を考える① <不安定な稼得と短期ローン>を繰り返す相談ニーズほか	コロナ禍特例貸付の利用者を分析すると、借入前の収入が月20万未満＝約9割、月10万未満＝過半という。いわゆる不安定就労層(ワーキングプア)のニーズの応える相談の告知や相談支援の進め方について議論、交流します
1月16日(金)	(5) もっと活用したい労働雇用施策～ハローワーク等の強みと弱み～	「特定求職者」って？特定求職者向け支援メニューの変遷と現状、特に氷河期世代支援対策以降の状況を振り返ってみます。また、わが国の「仲介のしくみ」半世紀の歩みをもとに、「職安」「ハローワーク」への期待と今後の仲介のしくみ(労働市場政策)について意見交換します

自立就労委員会事務局: 壽山(チュードント・サポート・フェイス)、小林(ワーカーズコープ)、西岡(生活困窮者自立支援全国ネットワーク)

問合せ: 自立就労委員会に関する内容 nishioka@adash.or.jp 西岡まで

オンライン版自立就労委員会の申込み suyama-youko@student-support.jp 壽山まで